

午 後

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午後の試験問題数は 64 問で、解答時間は 1 時間 55 分です。

医学一般

問題 57 高齢者の疾患の特徴に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 多疾患の合併が多い。
- 2 症状が定型的である。
- 3 社会的環境の影響を受けやすい。
- 4 潜在的な臓器障害が多い。
- 5 うつ症状を伴いやすい。

問題 58 糖尿病に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 血糖値のわずかな変動でも体調に影響する。
- 2 定期的な眼科受診が必要である。
- 3 健常者に比べ感染症の危険は高くない。
- 4 インスリンは発症早期には投与しない。
- 5 発症早期には運動療法は効果がない。

問題 59 次の眼疾患のうち、手術により視力の改善が最も期待できるものを一つ選びなさい。

- 1 白内障
- 2 緑内障
- 3 網膜静脈閉塞症
- 4 加齢黄斑変性症
- 5 糖尿病性網膜症

問題 60 高齢者の服薬に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 認知機能障害は、服薬状況を悪くする要因となる。
- 2 錠剤は、小さくなるほど服用しやすい。
- 3 薬剤による副作用は、一般に高齢者の方が少ない。
- 4 服用した記憶があいまいな場合、再度服用してもらおう。
- 5 病院から処方された薬は、介護保険施設では管理をしない。

問題 61 高齢者に見られる骨・関節疾患とその特徴的症狀に関する次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 変形性膝関節症——関節が緩んで亜脱臼する。
- 2 大腿骨頸部骨折——重いものを持つと腰に激痛が走る。
- 3 関節リウマチ——排尿感覚が分からなくなる。
- 4 脊椎圧迫骨折——転倒後に下肢が麻痺する。
- 5 脊柱管狭窄症——短距離歩行で下肢がしびれる。

問題 62 次の疾患のうち、生活習慣病に該当しないものを一つ選びなさい。

- 1 歯周病
- 2 高尿酸血症
- 3 慢性気管支炎
- 4 関節リウマチ
- 5 アルコール性肝疾患

問題 63 急性心筋梗塞に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 徐々に発症する。
- 2 胸痛は5分以内に消失する。
- 3 上腹部痛を伴うことはない。
- 4 痛みを伴わないこともある。
- 5 冷汗を伴うことは少ない。

問題 64 次のうち、動脈血が流れているものとして、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 上大静脈
- 2 下大静脈
- 3 肺静脈
- 4 右心房
- 5 右心室

問題 65 神経疾患とその特徴的症狀に関する次の組み合わせのうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 脳梗塞——激しい頭痛
- 2 アルツハイマー型認知症——呼吸筋麻痺
- 3 くも膜下出血——舞踏様運動
- 4 脊髄小脳変性症——ふらつき歩行
- 5 筋萎縮性側索硬化症——視力低下

問題 66 インフルエンザに関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 潜伏期間は2～3週間である。
- 2 感染性は強くない。
- 3 発熱は軽度である。
- 4 全身倦怠感が強い。
- 5 細菌感染である。

問題 67 病院と診療所に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 病院は20人以上の患者を入院させるための施設を有している。
- 2 一般病床には主として長期にわたり療養を必要とする患者が入院している。
- 3 国全体の病床数では有床診療所が病院を上回る。
- 4 診療所の開設者は医師でなければならない。
- 5 都道府県別の人口10万対の病床数は東京都が最も多い。

問題 68 我が国の公的医療保険に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 現物給付が原則である。
- 2 乳幼児については患者の一部負担はない。
- 3 健康保険では、国庫負担（補助）は行われていない。
- 4 生活保護世帯は国民健康保険に加入する。
- 5 正常分娩も保険診療の対象である。

精神保健

問題 69 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 知的障害を有する者は、「精神障害者」の定義に含まれない。
- 2 市町村は、精神保健福祉センターを設置しなければならない。
- 3 任意入院とは、精神障害者本人の同意に基づく入院である。
- 4 自傷他害のおそれがあると都道府県知事が判断した精神障害者は、医療保護入院となる。
- 5 精神障害者又はその疑いのある者についての診察の申請は、警察官又は検察官でなければ行うことができない。

問題 70 パニック障害に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 パニック発作では、現実の危険が存在しない中で、強い恐怖又は不快感を伴う特徴的な症状を示す。
- 2 パニック障害では、本人はあらかじめパニック発作の発生を予測できる。
- 3 パニック障害は、薬物療法、認知行動療法、その併用などによって改善が期待できる。
- 4 特定の恐怖症や社会恐怖においても、パニック発作と類似した行動がよく見られる。
- 5 パニック発作は、不安障害だけでなく、他の精神疾患や身体疾患と関連して起こり得る。

問題 71 次の認知障害を呈する疾患のうち、改善が最も困難と考えられるものを一つ選びなさい。

- 1 慢性硬膜下血腫
- 2 ピック病
- 3 正常圧水頭症
- 4 うつ病
- 5 甲状腺機能低下症

問題 72 精神状態に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 思春期やせ症は、男子に多い。
- B 初老期には、うつ病が好発する。
- C 高齢期は、孤独感を感じる人が多い。
- D 終末期の精神状態は、安定していることが多い。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

介護概論

問題 73 訪問介護の家事援助行為に関する次の記述のうち、介護保険給付の対象として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 家族の布団を干した。
- 2 犬の散歩をした。
- 3 来客者にお茶を出した。
- 4 利用者の居室を掃除した。
- 5 庭の草むしりを行った。

問題 74 介護従事者としての心構えに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 自己研鑽に励み、援助に必要な知識や技術を意識的に使いこなす。
- 2 自分自身の行動の傾向について知る。
- 3 受け持ち利用者の問題は、できるだけ自分一人で解決する。
- 4 利用者の意思を尊重し、見守り、支えていく。
- 5 業務に関して知り得た利用者の秘密は、他の人に漏らさない。

問題 75 終末期の介護に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 利用者や家族の意向に沿った介護を行うようにする。
- 2 終末期の迎え方を利用者や家族と話し合っておく。
- 3 終末期の介護に移行する時期は、介護従事者が判断する。
- 4 家族が利用者とかかわる時間を多く取れるようにする。
- 5 医療職など他の専門職と密接な連携を図る。

問題 76 尿が漏れることを気にしている入所中の高齢者の排泄介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 排泄の状況を把握する。
- B 移動の状況を把握する。
- C 本人の思いを聴く。
- D 水分摂取を制限する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

問題 77 「平成18年人口動態統計」による65歳以上の家庭内における主な不慮の事故による死亡順位は、1位「溺死及び溺水」、2位「窒息」、3位「A」である。

「A」の予防に必要な住環境整備に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 火災報知器の設置
- 2 滑りにくい床材の使用
- 3 脱衣室と浴室の温度差の解消
- 4 加湿器の設置
- 5 温水器の設置

問題 78 介護老人福祉施設に入所している利用者のTさんが廊下で倒れているのを介護従事者が発見した。肩を軽くたたき、耳元で名前を呼んだが返事がない。次の記述のうち、介護従事者が最優先に対応するものとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 助けを呼んで協力を求める。
- 2 Tさんを医務室に運ぶ。
- 3 人工呼吸をする。
- 4 自動体外式除細動器(AED)を使う。
- 5 119番に通報する。

問題 79 介護過程のアセスメントに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 情報収集を行う。
- 2 情報の意味を解釈する。
- 3 ニーズを把握する。
- 4 生活上の課題を明確にする。
- 5 介護計画を立案する。

問題 80 削除

介護技術

問題 81 散歩後の高齢者の状態に関する次の記述のうち、脱水の兆候に該当するものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 足がむくんでいる。
- B 口腔内が乾燥している。
- C 尿意があり排尿をした。
- D ぼんやりとして元気がない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 82 右片麻痺の利用者が、ベッドの端に腰掛けている状態から立位になるときの介助方法に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ベッドに深く腰掛けるよう促す。
- 2 両足は膝より前に出すよう促す。
- 3 利用者の左側に立つ。
- 4 頭を反らせるよう促す。
- 5 利用者の右大腿部に手を当て、立ち上がるのを補助する。

問題 83 排泄介助に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 感染予防のため、おむつ交換時には使い捨て手袋を着用する。
- 2 利用者が自己導尿を行っているときの体位の保持をする。
- 3 差し込み便器を利用して排便をする場合、利用者の身体状況に合わせてベッドの頭側を挙上する。
- 4 膀胱留置カテーテル挿入部の皮膚や粘膜を清潔にする。
- 5 ポータブルトイレは小型で軽いものを選ぶ。

問題 84 高齢者の夜間の快適な睡眠のための援助に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 就寝前に濃い日本茶を飲む。
- 2 就寝前に食事をする。
- 3 就寝前にぬるめのお湯で入浴する。
- 4 部屋の照明はすべて消す。
- 5 マットレスは柔らかなものにする。

問題 85 次のうち、片麻痺のある利用者がかぶり上衣の着衣をする場合、身体の各部位を通す順番として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 健側上肢——>患側上肢——>頭
- 2 健側上肢——>頭——>患側上肢
- 3 患側上肢——>健側上肢——>頭
- 4 頭——>患側上肢——>健側上肢
- 5 頭——>健側上肢——>患側上肢

問題 86 入浴介助に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 利用者の肩にお湯をかけて湯温を確認してもらう。
- 2 血圧の低い利用者は、ぬるいお湯に長く入るようにする。
- 3 片麻痺の利用者の場合、麻痺側から浴槽に入る。
- 4 空腹状態にあるときの入浴は避ける。
- 5 入浴後は、十分な休息をとった後に身体の水分をふき取る。

問題 87 保温を目的とするゴム製湯たんぽの使用に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 湯の温度は80℃程度とする。
- B 身体に密着させない。
- C 容器の中の空気を抜く。
- D 感覚鈍麻のある部位に使用する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 88 褥瘡の予防に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 電動エアマットを使用している場合でも、体位変換は必要である。
- 2 おむつ着用者では、濡れたらすぐに取り替える。
- 3 長時間の同一体位は避ける。
- 4 体位変換をして側臥位にした場合、膝を重ねる。
- 5 車いすに座っている利用者が、ずり落ちないように防止する。

問題 89 利用者が点眼する場合の介助時の注意点に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 滴下数は、多いほど効果が増す。
- 2 目やには、そのままにしてもよい。
- 3 滴下は、眼球の上にする。
- 4 点眼容器の先端は、まつげに触れないようにする。
- 5 複数の薬の点眼は、間を置かずに行う。

問題 90 高齢者が福祉用具を選択するときの支援に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 利用者の使用目的・能力と、用具の性能を合わせる。
- 2 複雑でメンテナンスや操作が困難なものは避ける。
- 3 貸出制度の利用も考える。
- 4 住居等使用する環境に配慮する。
- 5 介護支援専門員の指示に従うよう勧める。

問題 91 機能性尿失禁に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 強い尿意があり我慢できず漏れる。
- 2 階段や坂道をおりているときに漏れる。
- 3 尿意をうまく伝えられなくて漏れる。
- 4 冷たい水に触れると我慢できず漏れる。
- 5 尿意がなく知らないうちに漏れる。

(介護技術・事例問題 1)

施設内感染に関する次の事例を読んで、問題 9 2 から問題 9 4 までについて答えなさい。

〔事 例〕

介護老人福祉施設の入居者 G さん（78 歳，女性）が早朝から下痢と嘔吐を繰り返し，午前中に病院を受診し，その結果，ノロウイルス感染の疑いがあることが判明した。

入居者は 50 名。1 ユニット 10 名が個室で生活し，G さんはユニット Q に所属している。それぞれのユニットには共有の居間兼食堂，家庭用浴室がある。静養室は医務室の隣である。

ご飯，味噌汁はユニットごとに準備し，副食は厨房で調理している。

また，同日の午前中には，それぞれのユニットから希望者が集まり，ホールで書道サークルが実施されていた。

問題 92 G さんの診断の結果を受け，入居者の健康状態の確認が行われた。その確認項目に関する次の記述のうち，適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 排便の状況
- B 入浴の状況
- C 睡眠の状況
- D 食事内容の状況

(組み合わせ)

- 1 A C
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 93 感染の拡大防止の対処方法に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 入浴を毎日実施する。
- B 手洗いの徹底を図る。
- C Gさんを静養室に隔離する。
- D 逆性石鹼で吐物を消毒する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 94 翌日、ユニットQの入居者3名に発症したので、緊急に施設全体の家族説明会を実施した。次の記述のうち、説明内容として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 考えられる原因や施設の現在の状況
- 2 ユニットQ以外にも感染する可能性があること
- 3 感染者は重篤になる可能性があること
- 4 面会時にはマスクを着用すること
- 5 入居者にワクチン接種をすること

(介護技術・事例問題 2)

一人暮らしの高齢者の支援に関する次の事例を読んで、問題 9 5 から問題 9 7 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Kさん（85歳，男性，要支援2）は5年前に妻を亡くし，自宅で一人暮らしをしている。以前は近くに住む友人とカラオケや将棋を楽しむなど活動的な日々を送っていたが，近ごろは足下がおぼつかなくなってきたため，自宅にすることが多くなった。商店街はバスを使わなければならない距離にある。会社員の長女は，他県に住んでいるが，週に1回は訪問して買い物や掃除など身の回りの世話をしている。Kさんは「できるだけ他人の力を借りずに，自分のことは自分でやっていきたい」と言っている。しかし，トイレに間に合わないことがあったり，大好きだった入浴も転倒を恐れ控えるようになってきており，生活に不安を抱くようになっている。週1回の介護予防通所リハビリテーション（以下「デイケア」という）と週1回の介護予防訪問介護を利用している。

問題 95 Kさんの清潔保持の支援に関する次の記述のうち，優先順位の高いものとして，適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A シャワーチェアへの購入を勧める。
- B デイケアでの入浴を勧める。
- C 訪問介護員が清拭する。
- D 介護予防訪問入浴介護の利用を勧める。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 96 Kさんの排泄の支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A おむつの使用を勧める。
- B 排尿のパターンを観察する。
- C 間に合わない原因を医療職に相談する。
- D 廊下やトイレに手すりを設置することについて話し合う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問題 97 Kさんの社会生活の維持及び拡大の支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 下肢の筋力トレーニングを勧める。
- B 一人で買い物に行くように勧める。
- C 友人との交流の機会を増やすよう勧める。
- D 長女の訪問回数を増やすよう勧める。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

(介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Mさん（78歳，男性，要介護2，身長160cm，体重65kg）は，妻（78歳）と二人暮らしで，脳梗塞で入院加療後，後遺症を抱えながらの在宅生活1年目である。歩行には一部介助が必要であり，時々，妻と車いすで散歩に出掛けるが，普段はテレビを見たり新聞を読むなどして過ごしている。食事のときは，車いすに座ってスプーンを用いて自分で食べられるが，身体全体が右側にずり落ちていることが多い。最近むせることが多くなってきた。1か月前に風邪をひいたが，現在は体調が安定している。Mさんはトイレで排泄することを強く希望し，妻の介助でトイレまで移動し排泄ができています。妻は腰痛を抱えながら昼夜を問わずトイレまで介助しているため，「疲れている，ゆっくり休んでみたい」と訪問介護員に話す。訪問介護（身体介護）を週に1回利用している。

問題 98 Mさんの現在の状態のアセスメントに関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 転倒のおそれ
- B 閉じこもり状態
- C 誤嚥性肺炎の危険性
- D 認知機能の低下

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 99 次の記述のうち，Mさんが，食事中にむせることが多くなった要因と考えられるものとして，最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 嫌いな食品が多いため
- 2 カロリー摂取量が少ないため
- 3 スプーンでの一口量が少ないため
- 4 風邪の影響が残っているため
- 5 食事中の姿勢が悪いため

問題 100 Mさんは「妻に申し訳ない」と訪問介護員に話し、ここ二、三日は食事を減らしたり、なるべく水分をとらないようにしている。次の記述のうち、Mさんがこのような行動をとっている理由と考えられるものとして、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 体重を減らすため
- 2 栄養のバランスを考えているため
- 3 妻の負担を減らすため
- 4 排泄の回数を減らすため
- 5 妻と自分の睡眠時間を長く取りたいため

形態別介護技術

問題 101 「自殺に関する調査結果」に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 自殺による死亡者数は、年間10万人を超えている。
- 2 自殺による死亡者数は、肺炎による死亡者数より多い。
- 3 都道府県別自殺死亡率には、差異が見られない。
- 4 自殺の動機の1番は、健康問題である。
- 5 女性の自殺死亡率は、男性の自殺死亡率より高い。

(注) 「自殺に関する調査結果」とは、「平成18年人口動態統計」と「平成19年中における自殺の概要資料」(警察庁)に基づくものである。

問題 102 「高齢者の虐待に関する調査結果」に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 虐待者の続柄では、息子による虐待が最も多い。
- 2 虐待の種別・類型では、心理的虐待が最も多い。
- 3 性別では、男性の方が被害を受ける割合が高い。
- 4 世帯別では、夫婦二人世帯が最も発生率が高い。
- 5 相談・通報者では、民生委員が最も多い。

(注) 「高齢者の虐待に関する調査結果」とは、「平成18年度高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」のことである。

問題 103 寝たきり高齢者に生じやすい状態とその予防に関する次の組み合わせのうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 起立性低血圧——安静臥床
- 2 尖足——関節可動域訓練
- 3 誤嚥性肺炎——口腔ケア
- 4 尿路感染——水分摂取
- 5 便秘——腹部マッサージ

問題 104 認知症の高齢者が「私、ここにいてもいいの」と何回も同じことを尋ねてきた。

次の記述のうち、介護従事者の対応として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「しばらくお待ちください。後からゆっくり聞きますね」
- 2 「はい、ここでじっとしててください」
- 3 「はい、大丈夫ですよ。ここに居てくださっていいですよ」
- 4 「どこか行きたい所があるのですか」
- 5 「何度も同じことを聞かないでください」

問題 105 視覚障害のある人の手引き歩行の援助に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 溝をまたいで越えるときは、利用者の後に渡る。
- 2 ドアのある場所を通るときは、利用者を先に通す。
- 3 座席に誘導するときは、利用者にはいすの脚を触らせる。
- 4 階段を上るときは、利用者の後ろを歩く。
- 5 狭い通路を通るときは、介助者が腕を自分の背中に回して利用者の前から誘導する。

問題 106 高齢者の難聴の兆候に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 聴いているテレビの音が大きくなる。
- 2 後ろから声をかけても振り返らない。
- 3 会話でつじつまの合わないことを言う。
- 4 団らんの場で会話することが多くなる。
- 5 耳鳴りを訴えるようになる。

問題 107 精神障害者の支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者を理解するために、過去の療養体験を聞く必要はない。
- B つらいときや苦しいときは、弱音を吐かないように励ます。
- C 不安や恐れ、被害的な妄想を訴えてきたときは、その人の事実としてそのまま受け止める。
- D 薬を飲みたくないと言ってきたときは、「無理に飲まなくてよい」と話す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 108 居宅サービス利用者の家族介護者への支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「介護は負担ではありません」と家族介護者が言ったので、介護上の問題はないと判断した。
- B 腰痛で悩んでいる家族介護者に、コルセットを提供した。
- C 家族介護者が自分なりの方法で安全に介護をしているので、そのやり方を尊重した。
- D 福祉用具の選択をするときに、家族介護者の使い勝手を配慮した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 109 聴覚・言語機能障害者のコミュニケーション手段に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 先天性聴覚障害者では、一般的に手話が有効である。
- B 中途失聴者では、一般的に筆談が有効である。
- C 麻痺性構音障害者では、障害の程度によってはコミュニケーションエイドが有効である。
- D 感覚性失語症者では、運動性失語症者に比べ、絵カードが有効である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 110 車いす利用者の介助に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 急な下り坂では、前向きで下る。
- 2 平地での曲がり角では、車いすの速度を速める。
- 3 段差では、キャスターを上げて段を上がる。
- 4 車いすを持ち上げて階段を上がる場合には、ブレーキを解除する。
- 5 不整地を走行する場合でも、キャスターを地面につける。

問題 111 呼吸障害で在宅酸素療法を行っている利用者の日常生活の支援に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 室内は、乾燥した状態を保つ。
- 2 外出をできるだけ控えるよう勧める。
- 3 息切れを訴えたら、酸素流量を増やす。
- 4 浴槽へは、鼻カニューレを外して入るよう勧める。
- 5 呼吸困難時は、口すぼめ呼吸を勧める。

(形態別介護技術・事例問題 1)

パーキンソン病のRさんの在宅生活に関する次の事例を読んで、問題112から問題114までについて答えなさい。

〔事例〕

Rさん（68歳、女性、要介護2）は、20年来のパーキンソン病で、主治医から内服薬をもらいながら、夫（75歳）と2人で在宅生活をしていた。しかし、徐々に病状が進行し、夫のみでの介助が困難となってきたため、約1年前から訪問介護サービスが開始された。Rさんは、歩き始めの一步が出にくく、歩き出すと小刻みでだんだんと速くなる。また、座ってじっとしていると手が勝手に震えていたが、起き上がることや立ち上がることは自立していた。1か月ほど前から、舌が絶えず動くようになり、午後3時ごろになると突然動作が止まり、起き上がることや立ち上がることもできなくなった。さらに、「誰かが窓からのぞいている」「男の声が天井から聞こえる」などと言うようになり、夫はRさんが認知症になったのではないかと心配している。

問題 112 Rさんに見られる姿勢及び歩行に関する次の記述のうち、適切でないものの一つを選びなさい。

- 1 安静時振戦
- 2 小刻み歩行
- 3 加速歩行
- 4 はさみ足歩行
- 5 すくみ足

問題 113 Rさんの介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 買い物などの外出支援は、午後に行うようにした。
- B 食事のとき、手が震えないように圧迫帯を前腕に巻いた。
- C コミュニケーションを円滑にするため、文字盤の利用を試みた。
- D 歩き始めには、足下に目印を置いてまたがせるようにした。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 114 Rさんの最近1か月の状態について、夫から相談された際の介護従事者の対応に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「突然動作が止まるのは、疲労によるものでしょう」
- 2 「『誰かへのぞかれている』というのは、目が悪くなったためでしょう」
- 3 「舌がよく動くようになったのは、何かを伝えたいからでしょう」
- 4 「最近の状態は今までとは違いが目立つので、主治医に相談したらいかがでしょう」
- 5 「『男の人の声が聞こえる』のは、認知症のせいですね。専門医に診てもらいましょう」

(形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

Yさん（68歳，女性，要介護3）は長年関節リウマチを患い，長期間ステロイドを内服しながら単身生活を続けていた。3年前より認知症状が出現し，在宅での生活が困難になり，半年前にグループホームに入居した。最近，自室が分からずうろろしたり，行ったことをすぐ忘れることが多くなった。歩行時は，下肢筋力の低下によるふらつきが目立つようになった。食事は自分でとれるが水分の摂取が少ないので，頻繁に水分をとるよう声をかけている。排泄は，昼間はトイレに行くことを誘導しているが，夜間は失禁があるため，パンツ式の紙おむつを使用している。皮膚のかゆみがあるので，入浴時に保湿剤を塗っている。

問題 115 Yさんのアセスメント項目に関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 徘徊症状の進行について
- 2 感染症のかかりやすさについて
- 3 褥瘡の危険性について
- 4 転倒の危険性について
- 5 脱水症のおそれについて

問題 116 次の記述のうち，Yさんの介護計画として適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 トイレに表示を付ける。
- 2 きちんと水分を摂取する。
- 3 手洗いを励行する。
- 4 排泄の状況を観察していく。
- 5 移動は車いすにする。

問題 117 Yさんの入浴介助に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 長湯にする。
- B アルカリ性の石鹸でしっかり洗う。
- C 関節の可動域の範囲で、自分で洗ってもらう。
- D 入浴時に皮膚の観察をする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

(形態別介護技術・事例問題 3)

脊髄損傷のある人に関する次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

〔事例〕

S さん（28 歳，男性）は，20 歳の時に交通事故で，頸髄損傷（C4 損傷）となった。病院でリハビリテーションを受けた後に退院した。自宅では母親の介護によって生活していたが，ほとんど外出する機会がなかった。しかし，母親が病気になったこともあり，3 か月前に身体障害者療護施設に入所した。当初は施設の生活に戸惑いを見せていた S さんだが，最近では施設に慣れ，友人もでき，生活に活気が見られるようになった。S さんの現在の状況は，食事は普通食，排便は浣腸により，排尿は膀胱瘻により管理をしている。

問題 118 現在の S さんの可能な動作に関する次の記述のうち，正しいものを一つ選びなさい。

- 1 座位での移動
- 2 首を動かすこと
- 3 肘を曲げること
- 4 寝返り
- 5 つまみ動作

問題 119 S さんの身体状況の観察に関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 顔色
- 2 便意
- 3 尿量
- 4 頭痛の有無
- 5 皮膚の損傷

問題 120 ある日、介護従事者はSさんより「久しぶりに買い物に行ってみたい」と相談を受けた。そのときの対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「外出したいですね。もう少し詳しくお聞かせください」
- B 「人込みの中は疲れて大変ですよ」
- C 「私が代わりに行って買ってきてきましょう」
- D 「どんな準備が必要か、職員と一緒に話し合いましょう」

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×